

女性がいぎ

NO.106

発行者 岸和田女性会議
発行日 2023年8月5日
連絡先 TEL 070-1349-8753
送付先 〒596-0042 岸和田市加守町4-6-18
岸和田市立男女共同参画センター気付
URL: <http://joseikaigi.web.fc2.com/>

2023年度 第35回 岸和田女性会議総会

日 時：2023年4月8日(土) 13:30～15:30
場 所：市立男女共同参画センター
参加人数：36人

来賓 永野市長 西田市議会議長
谷口市民環境部長
今橋人権・男女共同参画課長
兼男女共同参画センター所長



草木が芽吹く時季、コロナ感染拡大規制が緩和されつつある中、第35回総会が開催されました。

先ず、馬場代表より「岸和田女性会議は1988年に創立、男女平等参画社会の実現をめざして、先輩から私たちへ連綿と引き継がれて活動してきました。女性会議は、『あらゆる人の人権を尊重し、安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして活動する』ということの基本目標に掲げています。今私たちができることは、自分の心から差別をなくし、お互いを『認める』ことだと思います。安全で安心して暮らせる社会をつくっていきましょう」と挨拶がありました。

続いて、来賓の永野市長より「昨年は、岸和田市は市制施行100周年でありました。女性会議の皆さんのご意見も取り入れながら100周年実行委員会を進めてまいりました。何より大事なことは、101年、102年、103年…と益々住みやすく、人権が守られ、多様な生き方が許される社会づくりをしていこうと呼びかけました。そして、財政を健全化していかなければならないと行政改革の新プランを作り、4月1日より動き出しております。又、女性会議の皆さまからも必要性のお話をいただいております合葬式墓地の計画も進んでおり、これからも引き続き取り組んでまいります。さらに、岸和田市と貝塚市で1つの斎場を力を合わせて造って行きたいと思っております。全ての人々が自分らしく、豊かに生きていけるような岸和田市を皆で一緒につくっていきましょう」とご挨拶をいただきました。

次に、西田市議会議長より「日本では男女共同参画社会の実現に向けて、様々な政策が行われておりますが、諸外国と比較いたしまして総合職や管理職における女性の割合が非常に少なく男女差が大きいと思います。女性の就労にあたっては仕事と家庭の調和を考慮した子育てサポートの充実や、家庭的な性的役割分担

の意識を払拭させることも必要になってまいります。市議会においては、平成27年に岸和田市議会規則内に、出産を理由に欠席を許可することのできる旨の条項、令和3年には出産補助、育児の為に欠席をすることができる旨の条項を掲げております。女性も働きやすい環境に整備を進めてきました。女性会議の皆さまにおかれましては、真の男女共同参画社会の実現に向けて様々な場面の啓発や活動を一層進めて行かれましてら幸いに思います」とのご挨拶をいただきました。

来賓の方々の紹介に続き、河内前人権・男女共同参画課長のご挨拶がありました。

- 議事 ①2022年度事業報告
②2022年度収支決算報告
③2022年度会計監査報告
④役員改選
⑤2023年度事業計画案
⑥2023年度会計予算案

毎年行っていたかしましフェスティバルを隔年に開催することを含め、議案は全て承認されました。

● ● 第2部 かしまし座公演 ● ●

「SDGsを学ぶ “海の豊かさを守ろう～このゴミどっち？～”というテーマでサロン・ドゥ・GOMI部会が発表しました。最初に、WWWFジャパンのホームページの教材から、マイクロプラスチックが生態系や環境へ及ぼす悪影響を学んだ後、具体的に日用品の分別をした捨て方を学び合いました。

ゴミ問題は関心度も高く、時間が短く感じられるほどでした。



(永橋 馨)

ごあいさつ

人権・男女共同参画課長
兼男女共同参画センター所長 今橋 章吾

このたび、人権・男女共同参画課に異動してまいりました今橋でございます。

岸和田女性会議の皆様には、平素から本市のまちづくり、ならびに男女共同参画の推進に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、岸和田女性会議におかれましては、昭和63年12月3日の設立総会から本年で35年を迎えられることとなります。この間、平和で安全な男女平等参画社会の実現をめざした多岐にわたるご活躍に心から敬意を表します。

本市におきましても、岸和田市男女共同参画推進条例

のもと、令和3年に策定した第4期きしわだ男女共同参画推進プランに基づき、「誰もが暮らしやすい社会にするために男女共同参画を実現するまちきしわだ」をめざし、男女が互いの人権を尊重し、性別に関わりなくあらゆる分野において活躍できる社会の実現のために様々な取組を進めています。

男女共同参画の推進には、女性も男性も、想いを伝え合うこと、知ること、学ぶこと、想像することが大切なのではないかと思います。

私自身、男女共同参画については初めて携わる分野ですが、これからのより良い社会の実現に向け、皆様のお力をお借りし、着実に歩みを進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

2023～2024年度新役員紹介 (敬称略 五十音順)

- | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 代表世話人 | 熊取ちえみ | 中川 麗子 | 馬場由美子 | |
| 事務局長 | 小南ひとみ | | | |
| 事務局員 | 安藤 長 | 梅崎美智子 | 貝塚真知子 | ◇永橋 馨 |
| 会計 | 川本佐知子 | | | |
| 会計監査 | ◇実川 孝子 | ◇宮路 良江 | | |
| 世話人 | 青山 織衣 | 池田 啓子 | ☆井上富美子 | 大浪 雅子 |
| | 尾矢千衣子 | 加賀利雅美 | 河合 明美 | 小生富士枝 |
| | 神藤 香 | ◇竹末美恵子 | 田中 市子 | 辻 満里子 |
| | 殿本マリ子 | ☆西上 晴美 | ◇西村 令子 | ☆藤井 啓子 |
| | ☆安井 久美 | 柳澤 早苗 | 山本 一美 | |



☆印は新しいメンバー ◇印は役職変更のメンバー _____は団体からのメンバー 新代表事務局メンバー

(退任者) 岩崎 郁代、木下 幸子、中 眞茅子、西植 智子、長谷川 秀美
坂東 桂子、松田 真弓、松原 和子、溝口 信子、南 淳子
※以上の方々は今長くお世話いただきましたが、このたび退任されました。ありがとうございました。

部会に入って本音で語り合いませんか! 部員募集!!

女性学サークル 第2木曜日 13:30～ 部長 小林 知津

目標 ・男女平等参画社会及び様々な人権に関わる問題に取り組む
・女性の地位向上を目指すための活動を推進させる
内容 ・「選択的夫婦別姓」法制化についての法的立場からみた講座を企画する
・「女性差別撤廃条約選択議定書」批准の遅れについて学ぶ

ワーク部会 第3金曜日 19:00～ 部長 本郷 元子

目標 ・若年労働者、アルバイト等の抱える諸問題を広く知ってもらうための活動に取り組む
内容 ・2022年度に学習してきた若年労働者、アルバイトに関わる問題について広めるため、「かしまし座」のレパートリーとなる作品やリーフレット作成
・「小冊子」を仕上げる

悠遊・UBAステーション 第4火曜日 10:00～ 部長 柳澤 早苗

目標 ・高齢者になっても男女平等参画社会の理念に基づき、自分らしく生きていくための準備をしておく
内容 ・岸和田市合葬式墓地建設の進捗状況を聞き、運用方法について提言していく
・引き続き終活について学習する

福祉部会 第1水曜日 13:30～ 部長 大浪 雅子

目標 ・年齢、性別、障害の有無にかかわらず、住み慣れた地域で自分らしく生きていけるよう岸和田市の福祉政策について調査学習する
内容 ・「第5次岸和田市地域福祉計画」の進捗状況を見直しするとともに、地域福祉計画の構築に向けた取り組みを考える
・「地域福祉計画」についての講演会を実施する

サロン・ドウ・GOMI 偶数月 第3日曜日 10:00～ 部長 尾崎 敏子

目標 ・岸和田のゴミ問題や環境問題を男女平等の視点で考え、行動に繋げる
内容 ・「このゴミどっち?」のワークショップで使用する分別用のマグネットシートの見直し
・担当課との懇談
・エコキャップ運動を広める

お針子サロン

目標 ・作品作りを通して仲間との交流や学習を深め、男女平等参画社会を目指して活動する

お問い合わせは事務局まで 070-1349-8753

第31回 市長との懇談会

2月8日(水) 13:30~14:40 於：市長公室
出席者：永野市長 谷口市民環境部長 河内人権・男女共同参画課長
船津人権・男女共同参画課主幹 女性会議 8名

久しぶりの市長懇談会、少し緊張して始まりましたが、すぐ和やかな雰囲気になり、たくさんの質問にも答えていただきました。

I 男女平等都市宣言について

女性会議：岸和田市男女共同参画推進条例では、男女共同参画の推進を主要な政策と位置づけています。また、令和3年3月には第4期きしわだ男女共同参画推進プランが策定されました。しかし、男女平等は道半ばです。岸和田市の男女共同参画に対する市の姿勢を示すためにも、男女平等都市宣言をしていただきたいです。

市長：男女共同参画に関する市の姿勢を示す方法として、宣言、条例、あるいは、その両方と、いくつかの方法がありますが、岸和田市は条例制定という方法を選択しました。宣言という形をとっていませんが、条例において男女共同参画を進めることを宣言しています。そのため、いま改めて宣言をすることは考えていません。男女共同参画推進の機運を高めたいという想いは皆様と同じです。

女性会議：どのように機運を高めるのでしょうか。

市長：プランで定めている成果指標の数値が上がっていないものもあります。ライフスタイルや家族観にも関わることなので、一気に市民の皆様の意識が変わるのは難しいと思いますが、さまざまな機会を活用して、たゆまぬ努力をしていきたいと考えています。

女性会議：男女共同参画センターをもっと知ってほしいです。

市長：まずは男女共同参画センターにおいていただくことが大事だと考えています。親しみやすい講座を開催し、そこから気づきや学びを得て、参加してくださった皆さんの人生を豊かにする、そのような取り組みをしていきたいと思っています。

II 選択的夫婦別姓について

女性会議：「選択的夫婦別姓」について、市長個人として、どう思いますか。

市長：賛成です。特に反対する理由がみつかりません。

女性会議：婚姻により改姓するのは、ほとんどが女性です。すでに300から400の自治体の議会が「選択的夫婦別姓」の法制化に関する意見書を提出しています。私たちは岸和田市議会でも意見書を国に提出するよう要望していますが実現していません。同性か別姓かを選択できる制度であることが理解されていないのではないのでしょうか。

市長：議員と「選択的夫婦別姓」について学習する機会を設けてはいかがですか。

III 地域包括ケアシステムについて

女性会議：「第5次岸和田市地域福祉計画」が策定されましたが、計画書の印刷部数は300冊のみでした。地域で取り組むためには市民に計画を知ってもらうことが大切です。また、地域共生社会の実現に

は地域ケアシステムの構築が重要で、とりわけ地域ケア会議の役割は大きいと思います。地域の課題を政策形成につなげるため、地域ケアシステムを担当する専任の職員を配置してほしいです。



市長：まず、「第5次岸和田市地域福祉計画」ですが、冊子の印刷のほか、ウェブで閲覧できるようにしています。ホームページで検索しにくいというご意見もいただいています。必要な情報にアクセスしやすくする工夫と、多くの人に計画の内容を知っていただく努力をしていきたいと思っています。次に専任の職員の配置についてですが、兼任では仕事ができないということはありません。何が足りていないか教えていただきたい。

女性会議：地域の課題を見つけ解決策を探ることは地域の力を高めることにつながります。計画が周知され、市民が自助・互助について理解できれば介護保険給付費の削減にもつながります。

市長：それぞれの地域で把握している課題を施策につなげるためのネットワークづくりに力を入れていきたいと思っています。

女性会議：そのためには、縦割りではなく、横断的な人員の配置が必要です。

女性会議：「第5次岸和田市地域福祉計画」を周知することは市の役割だと思います。民生委員の研修会で担当職員から計画について話を聞く機会がありました。内容がよく分かりました。直接話を聞くことは大事だと思います。

市長：機会があるたびに周知し、計画に沿って施策を進めていくようにします。

女性会議：計画の進捗状況のチェックをお願いしたいです。

市長：計画を策定したら終わりではありません。高めの目標を掲げているため達成が困難な項目もあります。そのため、数値目標の達成度のみで評価できない点がありますが、目標値が達成できないのは、どこに障壁があるのか皆様と一緒に議論して考えていきたい。

女性会議：地域ケア会議で地域課題を議論できたらよいと思います。よろしく願いいたします。

最後にざっくばらんな話題となり、市長から「市のホームページをもっと分かりやすくし、発信も増やしていく」「今後は紙を減らしていく方向は免れないので、是非ネットを活用してください」との言葉がありました。

こうして直接意見交換できる機会を今後ともぜひ続けていきたいと思っています。

(馬場 由美子)

第32回

かしまし フェスティバル

2月26日(日) 13:00~16:00
市立男女共同参画センター
参加者：203名

穏やかな天気のもと、4年ぶりの開催でしたが、たくさんの方々が来場され賑やかな交流の場となりました。



オープニング

2019年4月に活動場所が旧女性センターから現センターに移り、新しい場所で初めての「第31回かしましフェスティバル」を2020年3月1日に開催予定で準備していました。ところが新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、直前に中止と決定せざるをえませんでした。その後もコロナの勢いは衰えず、次の年度もその次の年度も開催できませんでした。さらに今回は部屋の有料化も始まっているという状況でしたので、何度も話し合いを重ねて進めました。

開催時間を13:00から16:00の3時間とし、百軒横丁、ティーコーナー、展示コーナー、バザーを柱としました。そして最後の30分間は、全員そろってアトラクションのタップダンスを楽しみ、賑やかな福引き大会でフィナーレとなりました。

百軒横丁は出店数は減りましたが、久しぶりの開催を大変喜んで出店してくださり、品物もたっぷり用意してくださって売れ行きも好調！売る側も買う側も笑顔で会話が飛び交っていました。

サンドイッチとおにぎりは瞬間に売り切れました！コーヒーの香ばしい香りが漂います。実習室を「憩いのコーナー」にして、調理台をテーブルクロスと花で飾り、「30周年記念の集い」時に上映したDVDを流し続けて皆さまに観ていただいたのは好評でした。市長や市議



憩いのコーナー

会議長はじめ来賓の方々もゆっくり観ていただきました。

今回初めての試みの展示コーナーは、女性会議の活動、各部会・団体会員のPRや活動紹介などが分かりやすく展示され、お互いの活動をよく知る機会になったと好評でした。多くの方が足を止めて意見交換されていました。来賓の方々も、改めて女性会議の歴史がわかると褒めていただきました。どのグループも熱心に取り組んで



展示コーナー

準備したので、大変充実したコーナーとなり、短時間で撤去するのはもったいないと思うほどでした。



バザー入り口

またセンターを知らない人が一人

でも多く、興味を持って来てくれるように企画したのがバザーです。バザー物品の提供も、思った以上にたくさんの方が協力してくれて、うれしい驚きでした。

当日も大盛況！せまい部屋に大量の物品！部屋の前には長蛇の列！手慣れたメンバーが、入室の人数と時間を区切って交通整理してくれたおかげで、事故もなく和やかに進んでいきました。



タップダンス

今後のかしましフェスティバルは、2年に一度、5月か6月頃に開催することが総会で承認されました。次回は、2024年の5~6月頃です。また楽しく交流しましょう。

(実行委員長 馬場 由美子)

お知らせ

「選択的夫婦別姓についてⅡ」

～ジェンダーと法～

講師 松田 聡子さん

(桃山学院大学法学部教授)

10月15日(日) 13:30~15:30

市立男女共同参画センター

「第5次岸和田市

地域福祉計画について」

講師 小野 達也さん

(桃山学院大学社会学部教授)

11月12日(日) 13:30~15:30

市立男女共同参画センター

市立男女共同参画センター・
大宮地区公民館合同まつり

11月18日(土)・19日(日)

トルコ・シリア地震救援金として22,181円を
福祉政策課を通じ日本赤十字社に届けました。(4月11日)

2022年度 岸和田女性会議男女平等参画社会推進事業

DVD上映会&講演会 晶子からあなたへ

講師 阿笠 清子さん(劇作家)

3月11日(土) 13:30~15:30 市立男女共同参画センター 参加者26名



[DVDのあらすじ]

幕が開くと、薄暗い舞台の中央に後ろ向きで立つ能面をつけた着物姿の女にスポットライト。やがて「君死にたまふことなかれ」のうたが流れる中で舞う。女が上手に入ると音がフェイドアウト。舞台が明るくなり下手から大学生登場。オンライン授業が続く彼女は、甦った与謝野晶子、平塚らいてう、山川菊栄、山田わかとの4人に会う。1918年から1919年にかけて(大正時代)、雑誌上で「母性保護論争」を闘わせた彼女たちは、当時の激しい論争を舞台上で再現する。4人があのお世で話し合いを続け「よりよき女性の生き方」を共に求めていたことに変わりはない、同じ目的地に向かって歩いていたことに気づいた様子が描かれている。そんな中、大学生が「友だちがすごい熱を出した」と言ってきた。たまたま客席にいた看護師がてきぱきと処置をして、大事には至らなかった。そしてコロナ禍の中、しんどくなって看護師を辞めようと思っていた彼女は、4人との楽しい時間を過ごせて病院に戻る勇気をもたらした。最後に『希望』を象徴するバレエ。

[講演会]

いろんな受け止め方があるんですね。自分が言うのもなんですが…全然古くないやん。去年10月に堺で上演した、ずばりセリフ劇です。最後のバレエはそれなりの意味があります。バレエをつけないと訴えかけにならない。主題は『希望』、ダンサーに創ってもらいました。

一部紹介しますと、母性保護論争で、晶子は「すべての人が手と手をつないだら世界は上手いく、大人も子どもも女も男もない」と言っています。

らいてうはずう〜っと女性の解放運動の先頭に立ってこられた方ですから、彼女が言っていることが、ある意味、今にも繋がっていますよね。子育ての間だけ国が、自治体が補助する。費用があれば女も働けるのに…ということだと思っただけだったらいいですね。女性が子育てから何から全部やってしまうからしんどいのであって、らいてうは女性が働くということには賛成。

山田わかには良妻賢母主義的立場から論争に参入する。晶子が言っているように、楽しく子育てしながら働くのもいいけれども、子育てや家庭を守ることに全力を傾けたい女性もいますから、わかの説が決してダメということではない。わかにはアメリカに売られて「からゆきさん」の経験があるから、男性に対する捉え方が他の3人とは違う。女は家庭で男の人と一緒に守っていくという体験を基にしている。その当ても、今も賛否両論ある。

この3人を全部一蹴してしまうのが山川菊栄です。資本主義では、いくら働いても報酬が少ない。差が大きすぎる。それでは貧富の差は永遠になくならない。菊栄の説は社会のしくみを変えること。社会主義への転換しかない。全体を変えなければ女も男も幸せにはなれない、というものです。

晶子の説がなぜいいのか？彼女はパリに行って、日本人ではない人々を見て、日本人がいかに小さいかを思い知らされた。女、男というのではなく、皆堂々としているのを目の当たりにした。そこから晶子は大きく変わった。大事

なことは、貧富の差とか女と男の違いとかよりも、みんなが自分の生きたいように生きられる、そして他を認め合えることではないか。晶子の一番の主張は、人は皆平等であるというよりも自由であっていいのだ、子どもは社会で育てるのだなんて堅苦しいことは言わなくても、育てる人がいたら育てたらいいし、国からお金が出ればそれもいいし、という今流で言えば多様性。皆が主張し合って認め合っただけで済んだ状況の中で、社会づくりをできる人がいればさらにいいのではないかと。晶子が作った詩「不思議の街」の最後に、パリは私の自慢の東京と大ちがいの街だとのうたがあるのいいですね。

今回の演劇は、十数年前の「山の動く日来たれ」が元になっています。母性保護論争を中心として、女性が先頭に立てば男性を引っ張っていくこともできる、職場でも家庭でも女性が力を発揮すれば世の中変わるから、女よ頑張ろうよという方向で創りました。

晶子は「母性保護論争」で女性の経済的独立を主張し、自らの生き方そのものであり、現代にまで引き継がれる女性の生き方の指針となった。そして、大正デモクラシーという素敵な時代だったと知っていただきたい。雑誌で論争をやる。頑張れと男たちは拍手をしていた。男たちも雑誌に書評を書いたりしていた。いい意味で男女ともに意見を交換したりしていた時代だった。

約100年前に同じような世界的パンデミック(スペインかぜ)を体験した晶子なら、今起きている世界中の混乱に対して「冷静になって手を繋げ」と言うだろうと思ひ、それが私の訴えたいことでした。人間というのはこれまで一体何をしてきたのだ。ウイルスからのしっぺ返し。今後も起きるであろうパンデミック。バカなことをする人、いたずらなど、はらだたい現象です。そんな若者を創ったのはおとなです。おとなたちが正しい社会づくりをしてこなかったから、コロナ禍の3年間でガラガラと音を立てて崩れていった。この劇の後半部分で表現したつもりです。

「あきらめないこと」「想像力」の二本柱で訴えていきます。自分以外のものに、想像力さえ働かせれば何とか近づけると思ひます。想像力を働かせることができるかどうか、です。“想像力さえあれば人は必ず分かりあえる”と信じています。

(中川 麗子)

<参加者の感想>

- ・コロナ禍の状況を反映して面白かったです。晶子たちの生きてきた時代と現代もあまり変わっていないのかも…想像力って大事ですね。
- ・母性保護論争は、私自身のこの十数年のテーマでもありましたが、この数年慣れていたこともあり、今現在切実な問題提起であると思ひました。本当に「あきらめ」かけていたことを反省しています。
- ・晶子の「人はそれぞれ認め合い自由である」という考えを私たちも受け止めていかないといけないと思ひます。想像力が大事と言われた講師のおっしゃることが本当に大切と同感する。



福祉部会

安心して暮らせる 地域づくりにむけて

2023年3月22日

岸和田市長
永野 耕平 様

岸和田女性会議
代表 熊取 ちよみ
中川 麗子
馬場 由美子

安心して暮らせる地域づくりに関する要望書

平素は岸和田女性会議の活動にご理解、ご支援を賜り有難うございます。
岸和田女性会議は性別、年齢、障害の有無に関わらず、自分らしく生きていく社会の構築を目標に掲げ活動をしています。福祉部会では、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らす続けるために「第5次岸和田市地域福祉計画」を学ぶとともに、岸和田市における地域包括ケアシステムの取り組みについて考えてきました。

近年では高齢者に限らず、障害者や子どもを含めた地域のすべての住民を対象とし、地域包括ケアシステムをより広い視点からとらえて、支え合いの地域づくりを進めることが求められています。そのためには、地域の中で困っている住民の問題を我が事と受け止めるといった我が市の意識を醸成する働きかけなど、地域共生社会に向けた施策として市が積極的に取り組むことが重要ではないかと思えます。そしてその取り組みをさらに充実していただきたいと願い、以下の要望をいたします。

1. 「第5次岸和田市地域福祉計画」が策定されているが、地域福祉に対する意識を深めるため、さらに市民への周知をお願いしたい。
2. 地域包括ケアシステムの専属の職員の配置をしていただきたい。
3. 地域ケア会議を充実に行っていたり、地域の課題を解決するための仕組みづくり、政策形成につなげていただきたい。

回答は4月21日までにお願いいたします。
連絡先/回答の送付先
岸和田女性会議 福祉部会 大浪雅子

福祉部会では「第5次岸和田市地域福祉計画」が施行されたことで地域福祉について学び、そして疑問に思ったことなどを意見交換しながら、岸和田市へ下記の要望書を3月末に提出し、回答をいただきました。

岸総広第 244 号
令和5年4月13日

岸和田女性会議
代表 熊取 ちよみ 様
中川 麗子 様
馬場 由美子 様

岸和田市長 永野 耕平

「安心して暮らせる地域づくりに関する要望書」に対する回答について

2023年3月22日付けで提出されました標記の要望に対し、以下のとおり回答します。

回答

1. 『第5次岸和田市地域福祉計画』が策定されているが、地域福祉に対する意識を深めるため、さらに市民への周知をお願いしたい。
【回答】
地域福祉推進委員会など様々な機会をとらえ、地域福祉の本市の理念や方向性について周知をはかるとともに、それぞれの活動の場において地域福祉に対する意識を深めていただくよう働きかけて参ります。
2. 地域包括ケアシステムの専属の職員の配置をしていただきたい。
【回答】
現在、地域包括ケア推進担当5名で、介護予防、医療と介護の連携等の事業を実施しております。引き続き、関係機関との連携力を入れ、事業の推進に取り組んでいきます。
3. 地域ケア会議を充実に行っていたり、地域の課題を解決するための仕組みづくり、政策形成につなげていただきたい。
【回答】
関係する皆様と一緒に、地域課題について考え、ひとつひとつ丁寧に取り組んでいきます。また、他市の情報などを参考に、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、課題解決に向け、さらに工夫して取り組んでいきます。

〈回答1について〉

地域に地域福祉に対する意識を深めていただくような取り組みについての質問に対して、周知についてはそれぞれの活動の場において地域福祉に対する意識を深めると回答されていますが、どの場所でどのような方法でということが明記されておらず、今後の取り組みを注視していきたいと思えます。

〈回答2について〉

地域包括ケアシステムの構築については専属の担当者の配置を求めましたが、現状では地域包括ケア推進担当が5名おられると回答されています。地域包括ケア推進担当として2年後に迫った「地域包括ケアシステム」の構築にどの様に関わっていくのか、また、介護予防、医療と介護の関係機関との連携を深めるとありますが、どのような方法で取り組むのかを明記していただきましたかったです。介護保険課に対しても今後の動向を検証していきたいと考えております。

〈回答3について〉

地域ケア会議については以前はコロナ禍での開催が困難であったとのこと。今後は開催が可能となるため工夫するとありますが、具体的な内容は記載がありません。どのような地域でどのような課題があるのかを把握するために地域ケア会議は非常に重要だと考えています。各地域での開催を是非進めていただき、政策形成に繋げていただきたいと思えます。

以上のように内容については具体的な回答が得られませんでした。

岸和田市の福祉を充実させるためには、各担当課に再度詳しく回答を求め、住み慣れた地域で住み続けられるような地域づくりができるように考えていきたいと思えます。

(大浪 雅子)

じだいの流れ

西上 晴美

時代の流れ? 深く思わず流れに乗って周囲の人間にも恵まれ平和に生きてきた私。

便利な世の中になり「いいやん!」なんて喜んでいただけに本当にそうなんだろうか? 便利は悪いわけではないが子どもたちの成長を妨げてる? 車社会で歩くことの減少=自然に身につくはずの筋力がつかない。ボタン一つである程度行える=考える力の減少。このことは子どもたちだけでの影響ではなく私たち大人にも言えることだ

と自分自身で実感するこの頃であります。

テレビから聴こえてくるのは事件の事や子供の将来、老後の生活などなど不安な事ばかりの気がします。ほっこりするニュースもありますが、そのことに一喜一憂し、社会はこの先どうなっていくのだろうか? 不安になります。でも私は半世紀を生きてきて、沢山の方々といういろいろ縁をいただき多くを学ぶ機会に出会い有り難いことだと。時代の流れに流されず、不安な社会に向き合いコロナ感染の2類から5類になり昨日と今日の違いは何? と些細なことに笑いながら生きていこう。



2月17日(金) 光陽大学
13:30~14:20 沼町会館
参加者:87名 女性会議:6名

SDGsを学ぶ

~ジェンダー平等とこのゴミどっち?~

- ・「選択的夫婦別姓」寸劇
- ・「女偏の漢字」
- ・「このゴミどっち?」

~環境とゴミ分別を考えよう~

光陽大学の閉講式、年間の学びの締めくくりにかしまし座に声をかけてくださいました。

そこで、国会でも取り上げられている「選択的夫婦別姓」

をわかりやすく寸劇で表現するとともに、「女偏の漢字」から、それらができた頃の社会状況や人間の営みに深くかかわっていることを紹介しました。興味深くメモをとってる方もおられました。最後に「なぜゴミ分別が必要なのか」「岸和田市でのゴミ分別と収集での問題」「ゴミ問題から家庭の中での男女平等な関係作り」について考えてもらえるように行いました。

ゴミの分別については日常生活で実践されているため参加者の関心も高く、バケツや歯ブラシ等の捨て方の質問に積極的に手を挙げて答えてくださいました。分別の正解と説明を行うと「プラスチックごみの袋が収集されなかった理由が解った」と正しい分別についての知識も高まり、公演終了後の役員会でも話題となったそうです。

後日「たいへん良かった」という感想が多かったという連絡とともに、2023年度の閉講式の公演要請をいただきました。男女平等参画社会実現のために、意義のある公演ができるように次回も考えたいと思います。



4月15日(土) 春木旭町組長総会(議事終了後)
20:05~20:30 旭町会館
参加者:66名 女性会議:5名

このゴミどっち? ~なぜ分別が必要~

最近プラスチックごみ収集で収集してくれないゴミ袋があることから、20分くらいでプラスチック製容器包装ごみの分別を解りやすく教えてほしいという町会からの依頼でした。

- ① なぜ分別が必要か(プラスチックごみの環境汚染問題を解りやすく)
- ② 岸和田市のプラスチック製容器包装ゴミ収集のポイント(間違いやすいものを具体的に)
- ③ ゴミの出し方(あまり知られていないお得情報)
- ④ 家庭の中から男女平等社会の実現をめざして、という4つのポイントに沿って、パワーポイントの資料を再考しました。そして、会場いっぱい組長さんたちを前にしての公演、たいへん熱心に聞いてくださいました。短時間ですが質問にも答えることができました。

退出時に『サロン・ドゥ・GOMI 作成資料』と廃棄物対策課からの『岸和田市のごみの出し方・分け方』の冊子・チラシを持って帰ってもらいました。その中には町会から全戸配布している冊子もあったのですが、出席者のほとんどの方に記憶がなく、「私たちは今回ゴミの分別について聞くことができましたが、町会会員にはどうされるのですか?」という質問が出ました。役員からは「この後の会議で検討します」との返答でした。公演も好評に終わることができました。

後日令和5年度の町会長や各団体の代表挨拶記事の裏全面に、今回勉強した内容を絵入りで解りやすくまとめた『町会だより』を全戸配布され、私たちメンバーもいただきました。今回の経験で大事な情報は資料が良くても、直接の説明がなければ伝わらないことが明らかになりました。だからこそ、今回私たちの話を聞いてくださった組長さんが『町会だより』を配るときに一言声をかけて配ってくださることを願います。

これからも岸和田女性会議の「男女平等参画社会実現」という基本目標に沿って、正しい役に立つ情報を「具体的に解りやすく」発信するかしまし座の活動を広げていきたいと思っています。(梅崎 美智子)

多様な(自分らしい)生き方ができる社会に

先日4歳児の孫の保育参観に3年ぶりに行きました。乳児の時は隠れながらの参観だったが、今回は私を見つけ手を振る姿に子どもの成長を実感。

最初は4・5歳児でピアノに合わせて全員で3曲元気いっぱい歌い踊った。その後4歳児の部屋に戻り「あおむし」の制作。担任から作業手順の丁寧な説明があり、先生が準備した「あおむし」の顔とからだの部分、お気に入りのマジック1本を前に取りに行くことになった。その時先生が「いっぺんに来たらぐちゃぐちゃになるから最初に男の子、次に女の子が前に取りに来てね」と言った。最初の作業後、次の手順の説明をして「今度は女の子が先に取りに来てね。そのあと男の子が取

りに来てね」と。机を前後2列に配置し座っている子ども達。狭い部屋での移動を考えると「前に座っている人」「後ろに座っている人」で分けるほうが子ども達が交差しないでスムーズなのに。道具を取りに行く作業に男女別が必要?その時おまけがあって、女の子が先にとわれたときに男の子が取りに行った。すると女の子から「あんな女違うやろ!男やろ」と突っ込まれたのだ。

日常生活のいろんな場面で、無意識に私たちは男女別の意識を植え付ける言葉を子ども達に使っていないだろうか!? 4年しか生きていない子ども達がすでに男女の違いを意識しているのだから!(梅崎 美智子)



拡大VOICE

「聴いてもらう権利」と「同意」ということ

平松 重美

最近「同意」ということに関心を持っている。

これまで性被害を訴えても、裁判で加害者側の「イヤと言わなかったからヤッてもいいと思った」などという言い訳がまかり通ってしまう例があって、内心腹を立てていた。今度やっと刑法の「強制性交等罪」が「不同意性交等罪」になり、同意が必要な年齢も13歳から16歳に引き上げられ（16歳未満は同意があっても罪に問われる）、諸外国に比べまだまだだが一歩前進！と喜んだ。「性的同意」についてもっと世の中の理解が進んでほしいと思う。

“人間と性”教育研究協議会の講座で「性的同意」について、YouTubeの動画を紹介してもらい、CAPの仲間にも紹介したら好評だった。（「性的同意 動画」で検索したら出てくる）

性行為を「紅茶を入れる時」に例えて、紅茶を入れてあげようと思っても、相手にきかずに勝手に紅茶を入れてはダメ。相手にきいたら「ウン・・・」といったら、やっぱり入れてはダメ。相手が気を失っているときもダメ。相手が「いらない」といっても気を悪くしないで、ただ紅茶を飲みたくないだけだから。飲むといっても、紅茶を入れてから「やっぱりいらない」と言ったら無理に飲ませようとしてはダメ・・・性行為の場合も同じだよ、と「性的同意」ということがどういうものかよくわかる動画だ。

もう一つの動画でも「相手の気持ちに反して何かしようとしたらダメ」「どうしたら相手の気持ちを知ることができる？」「そう！聞くことだよ」という部分が印象に残っている。

まず、相手の気持ちや、意向をきく、ということは性行為に限らず、日常生活の中でも大切だ。些細なことでも、「どうしたい？」「こうしてもいい？」と、自分の意思を聴いてもらうことは、自分を尊重してもらっていると感じる。以前、用事をしながらテレビをつけている時、帰ってきた夫が何も言わずにチャンネルを変えたのでムッとして、「変えてもいい？と聞いてよね！」とけんかになった時があった。特に見たい番組でなくても、勝手に変えられて自分が無視された感じがしたのだ。

子どもに対しても同じ。「その子のためによかれと思って」おとなはつい「こうしなさい」「これはダメ」と言いがち。でも、待つ。子どもは本当にそれを望んでいるの？

子どもの権利条約12条では、「意見表明の権利」が定められている。「意見表明」というとたいそうなことに思えるが、これは「聴いてもらう権利」のこと、その子に関することについてはまずその子の思いや希望を聴いてもらう権利があるということ。どんなにその子のためだとしても、その子に関わることはその子を抜きに決めてはいけなく、ということ。子どもは小さいうちから、どこへ行きたい？どうしたい？どんな気持ち？等聞いてもらう権利がある。

そんなこと言っても、それじゃ子どもの言いなりにするのか、というところではない。おとなにもおとなの思いや都合がある。子どもの希望をかなえてやりたくてもできないときがあるだろう。そんな時は、「これこれこういう理由でできないんだ。わかってね」というしかない。つまり対等に話し合うということ。小さい時からこんな風に自分の気持ちや考えを聞いてもらっている子は、自分が大切な存在だし、相手も同じように大切だとわかるだろう。問題が起ころうと、力で押し通すのではなく、相手の気持ちも聞いて「折り合いをつける」ことができるのではないかな。

まず、おとながこういうことをわかって、おとな同士も互いにこういう関係のとり方ができていると、子どもにとっていいモデル、信頼できるおとなになるだろうな、と思っている。

あゆみ(2/21~8/5)

・役員選考委員会	4回	・広報編集委員会企画会議	4/22	・人権協会役員会・幹事会	5/30
・悠遊・UBAステーション	6回	・広報編集委員会	7回	・人権尊重まちづくり審議会	6/8
・かしばしフェスティバル	2/26	・広報No.106発行・発送	8/5	・社会を明るくする運動市民集会	7/8
・福祉部会	5回	<審議会・委員会・行事への参加>		・男女共同参画フォーラム	7/9
・女性学サークル	5回	・社会福祉協議会理事会	3回	・生涯学習審議会	7/11
・ワーク部会	5回	・市制施行100周年記念事業		・介護保険事業運営等協議会	7/25
・DVD上映会&講演会「晶子からあなたへ」	3/11	実行委員会	2回	・テレビ岸和田放送番組審議会	7/27
・サロン・ドウ・GOMI	3回	・生涯学習支援チーム	5回	・合同まつり実行委員会	7/30
・代表・事務局会議	5回	・地域公共交通協議会	2回	・人権協会総会	8/1
・役員会	5回	・平和を考える戦争展実行委員会	2回	・平和を考える戦争展準備	8/1
・臨時事務局会議	4/5	・男女共同参画推進審議会	5/25	・平和を考える戦争展(8/2~6)	
・第35回岸和田女性会議総会	4/8	・だんじり祭運営協議会	2回	受付等担当	3回
・かしまし座公演	4/15			・子ども・子育て会議	8/4

編集後記

新型コロナウイルス感染症が蔓延して、いろんなことを制限された3年。5月8日に感染症の予防及び感染症の患者に対する法律の5類感染症に位置付けられました。この3年間の教訓を活かしながら、より前向きに進む女性会議でありたいです。

(安藤・池田・梅崎・貝塚・小南・中川・永橋・西上・馬場)

会員募集中

個人会員…1000円

団体会員…2000円

*問合せ 070-1349-8753